

まち歩き気分で!

え

ん

で

こぼなし
小話



第3回 白山地区 白山公園くすもとと楠本正隆

新潟総鎮守 白山神社に隣接した、緑豊かな都市公園。新潟県令・楠本正隆=写真右=によって明治6年に造られた、日本で最初の公園の一つです。34歳の若さで県令に着任した楠本は、開港五港に選ばれた新潟を近代化させようと、風紀改良や銀行の設立などさまざまな開化政策を推し進め、公園の設立もその一環でした。

園内でまず目を引くのは2つの池。東はひょうたん池、西は蓮池はすという名がついています。蓮池は設立当初からありましたが、ひょうたん池は明治11年、明治天皇の北陸巡幸に合わせて掘られたものといわれています。そして、ひょうたん池の隣にある築山「美由岐賀岡」は池を掘ったときに出土を使って造られたともいわれています。ほかに、園内には歴史を物語る記念碑や銅像などが数多く点在します。

白山公園は、設立した頃の面影を残していることが評価され、平



成30年に国の名勝に指定されました。憩いの場として、多くの人に親しまれています。



ガイドさんの **ミニ** 解説

新潟シティガイド 小寺 嘉信さん



新潟へ赴任する前、外務大丞だいじょうを務めていた楠本は、外国の事情に詳しく、洋風の公園についてもよく知っていたと考えられます。その先進的な知識を生かし、誰でも自由に利用できる場として公園の設立に力をいれました。池や築山、花木が配された回遊式庭園で、四季折々の風景を楽しむことができます。

石碑や銅像、古くからの建造物などがたくさんあり、新潟町の歴史・文化の豊かさを一度に感じることができる白山公園。じっくり見て回ると本当に興味深いですよ。

周辺地図

